

2026年3月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社島精機製作所

2025年11月

I. 2026年3月期

第2四半期決算概要 . . . 3P

II. 2026年3月期業績計画 . . . 16P

III. 株主還元 18P

«トピックス»

I . 2026年3月期 第2四半期決算概要

2026年3月期第2四半期決算概要

SHIMA SEIKI

(百万円)

	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2025年3月期
売上高	18,092	14,771	32,520
営業利益	△79	△1,938	△11,914
経常利益	780	△2,035	△11,481
親会社株主に 帰属する 当期純利益	672	△2,124	△14,275

為替レート (円)

	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	
ドル・円	148.88	142.73	期末為替レート (上段)
	146.09	152.75	平均売上レート (下段)
ユーロ・円	174.47	159.43	
	168.21	166.07	

事業概況

【横編機】

〈アジア市場〉

- ・バングラデシュにおいて、2024年7月の大規模な反政府デモによる混乱の平常化に伴い、受注は回復基調となり、生産効率の高い「N.SVR®」や「N.SSR®」の販売台数が前期に比べて増加。
- ・中国市場では、景気回復の遅れから依然として先行きが不透明な状況が続いているものの、香港系大手顧客による設備更新需要が堅調に推移し、売り上げ拡大につながる。

〈欧州市場〉

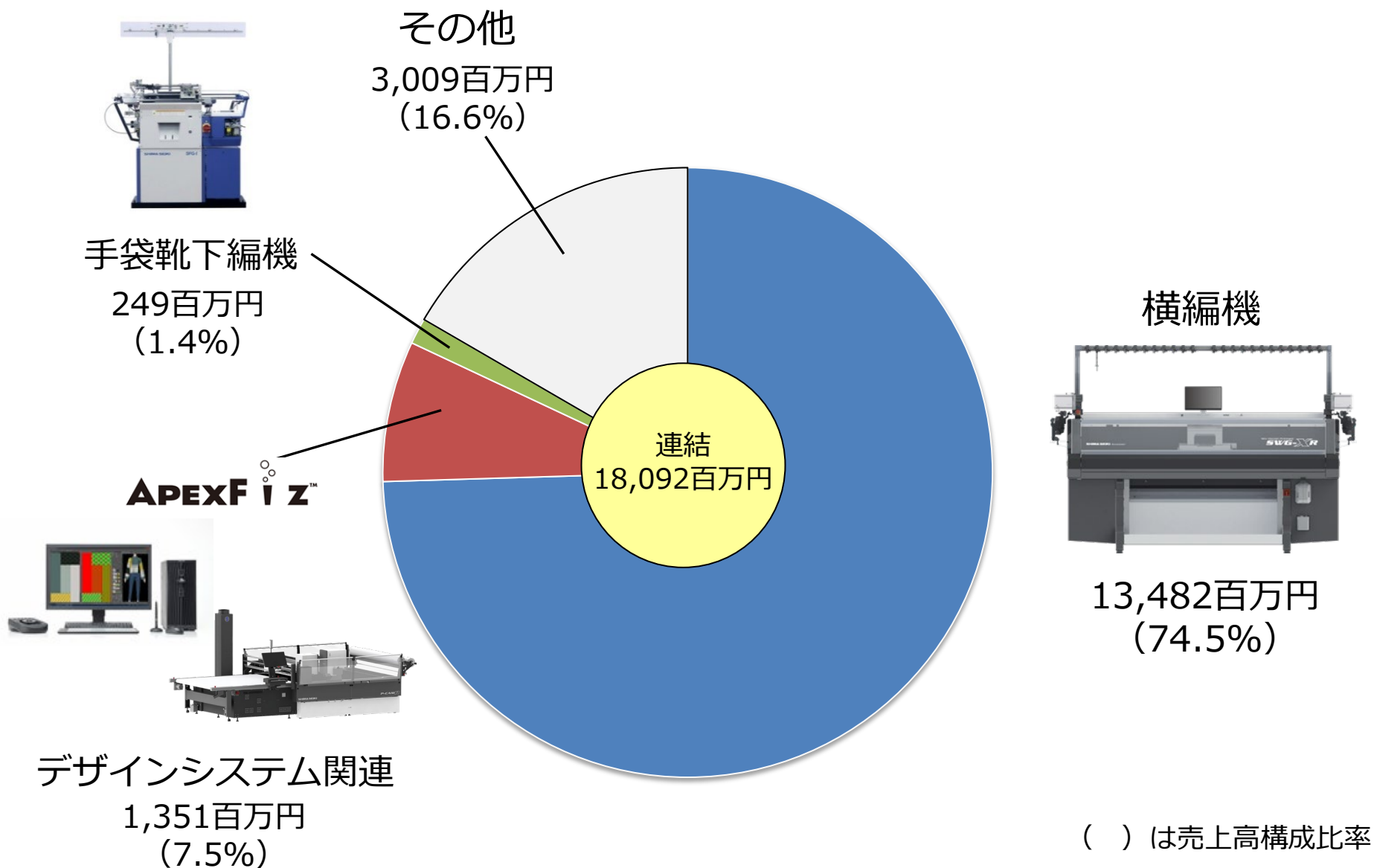
- ・付加価値の高い商品開発を得意とするイタリア市場において、主に高級ブランドおよびそのサプライヤーを中心に景気回復の兆候が見られ、ホールガーメント®横編機、成型機ともに販売台数が増加。

【デザインシステム関連】

- ・国内外のファッション関連教育機関を中心に、SDS®-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEXFiz®」のライセンス契約数が増加。
- また、横編機の売上増加に伴い「SDS®-ONE APEX」の販売は伸長。
- ・自動裁断機「P-CAM®」は、販売台数が減少。

【手袋靴下編機】

- ・海外大手ユーザーの設備投資が低調に推移したことで売上高が減少しました。



事業セグメント別売上高・営業利益（第2四半期）

SHIMA SEIKI

(百万円)		売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機		13,482	+35.2	1,751	+245.2
デザインシステム関連		1,351	△1.4	288	△10.7
手袋靴下編機		249	△41.9	39	+12.3
その他		3,009	+0.3	603	+47.4
消去				△2,763	
合計		18,092	+22.5	△79	—



ホールガーメント®横編機

- ・一着丸ごと立体的に編み上げる「SWG®-XR」「MACH2®XS」
- ・環境に配慮したものづくりを実現
- ・ニット帽や手袋などファッション小物に最適な「SWG®-N2」

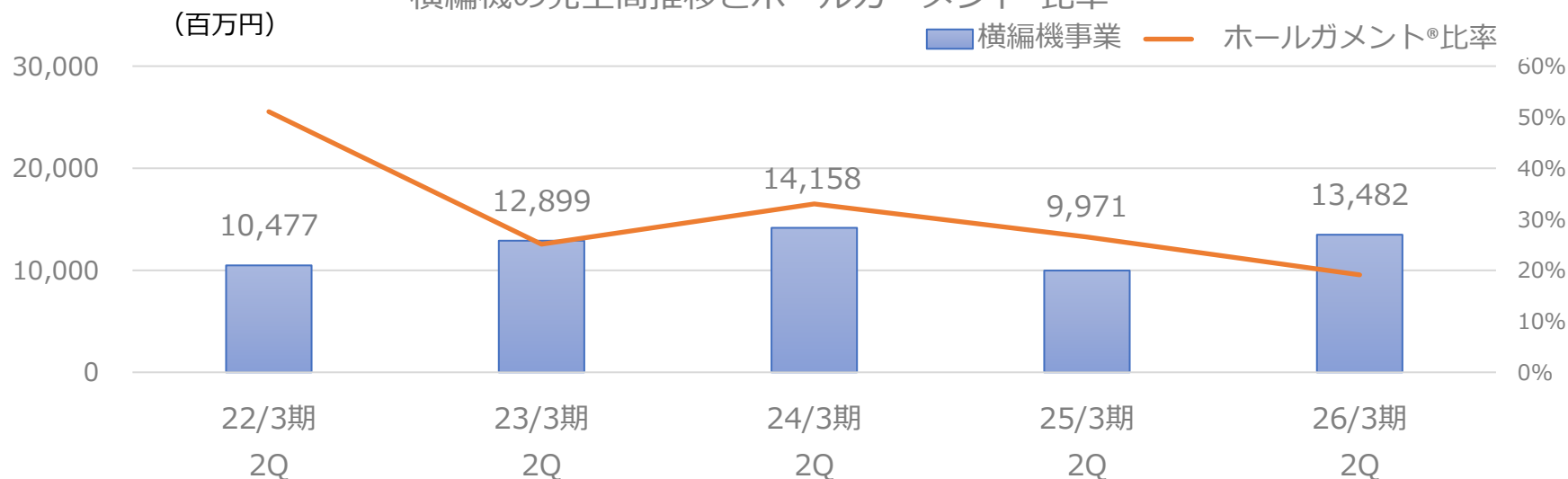


コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製・リンキング作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SES®-R」「N.SIR®」「N.SVR®」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SSR®」

ホールガーメント®売上高比率は19%程度（前年同期27%）

横編機の売上高推移とホールガーメント®比率



事業セグメント（デザインシステム関連事業）

SHIMA SEIKI



3Dデザインシステム「SDS®-ONE APEX4」

- ・編み機のプログラミング、パターンCADに加えて、横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェア



自動裁断機「P-CAM®」

- ・自動裁断機のみならず、生地裁断の前後 工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供
- ・「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材、など様々な業界へ浸透を図る

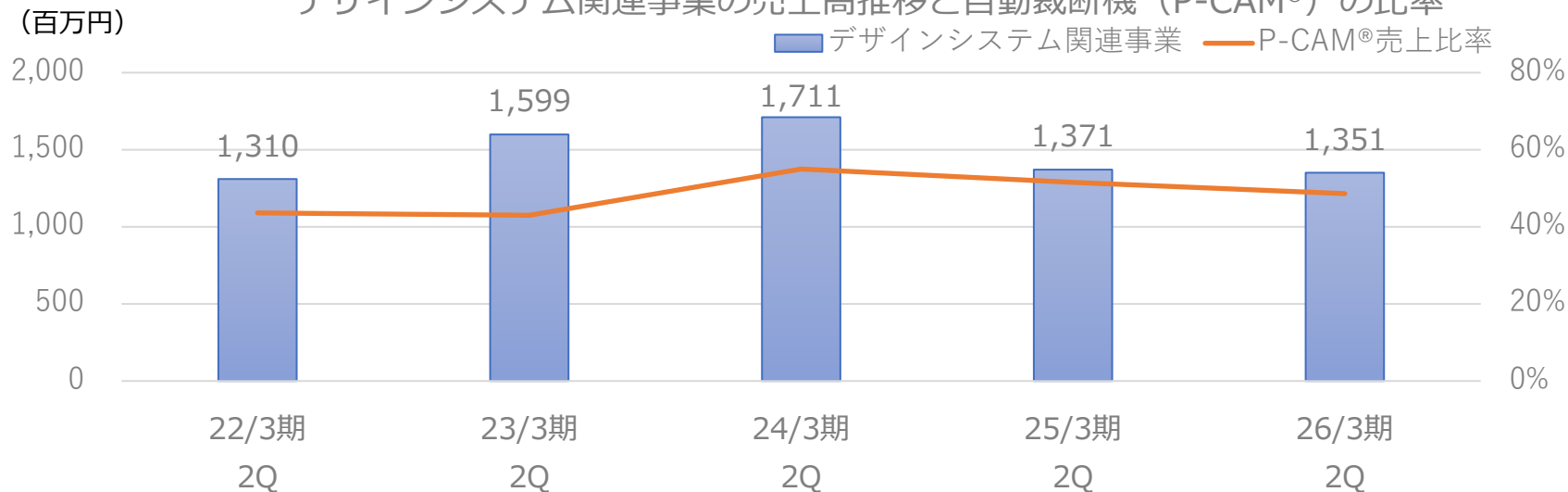
デザインソフトウェア「APEXFiz®」



- ・デザインシステムのサブスクリプション型ソフトウェア
- ・お手持ちのパソコンにダウンロードし、いつでもどこでもデザインが可能に

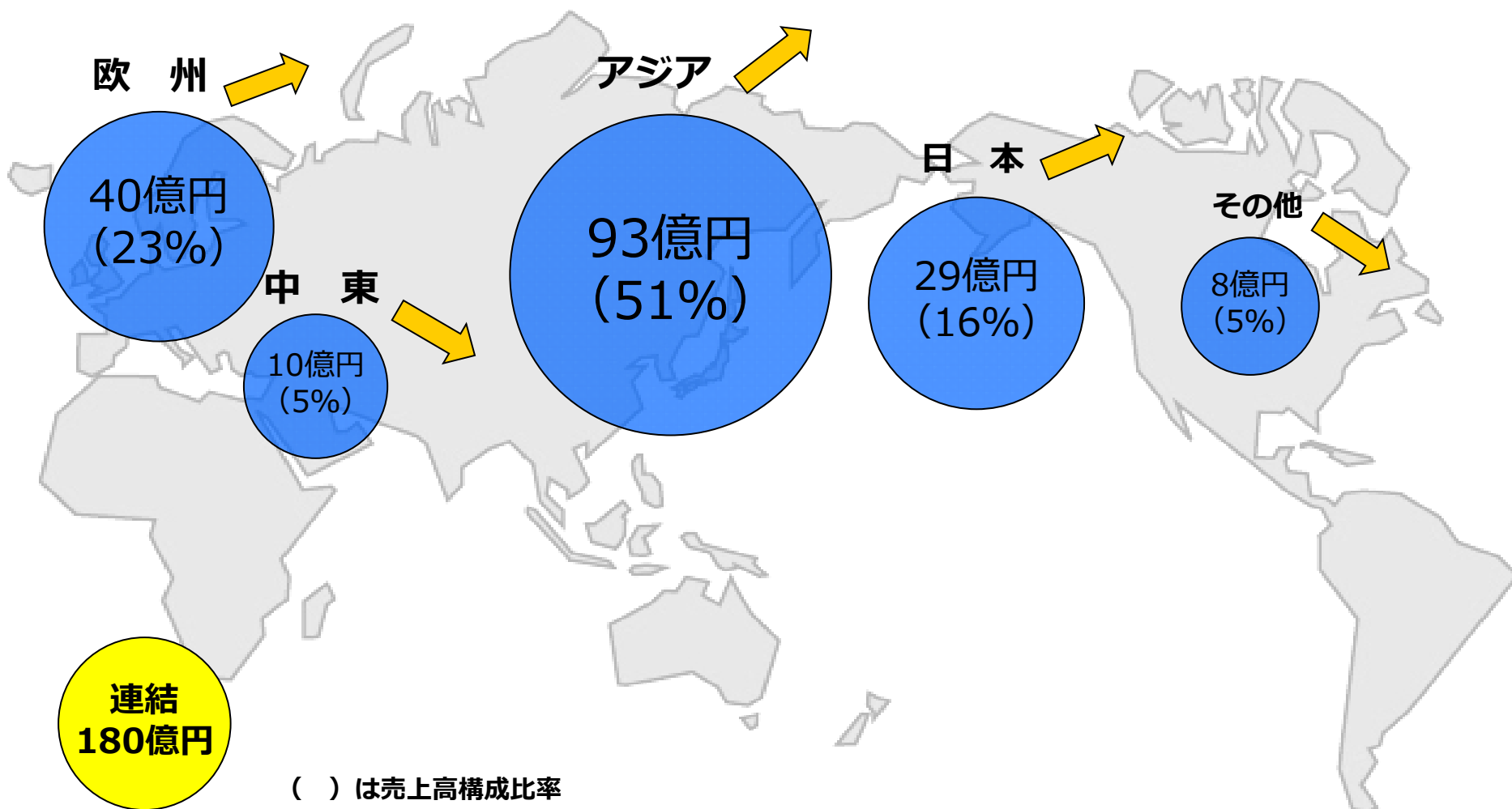
P-CAM®の売上高比率は49%程度（前年同期52%）

デザインシステム関連事業の売上高推移と自動裁断機（P-CAM®）の比率



地域別売上高構成〔連結〕（第2四半期）

SHIMA SEIKI



地域別売上高〔連結〕（第2四半期）

SHIMA SEIKI

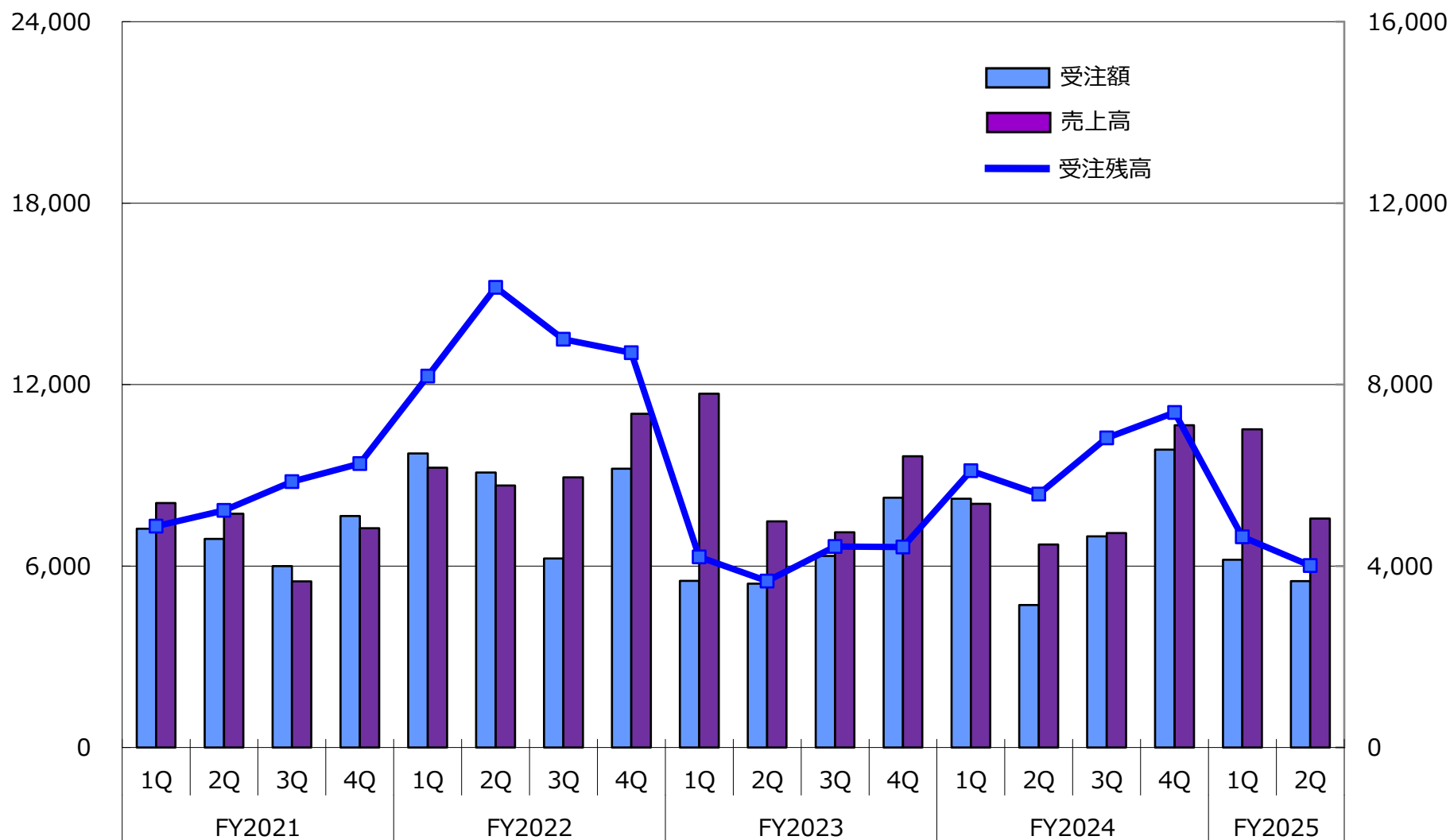
(百万円)		2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比 (%)
日	本	2,901	2,778	+4.4
欧	州	4,083	3,387	+20.5
ア	ジ	9,250	6,379	+45.0
中	東	1,004	1,141	△12.0
その他（海外）		852	1,084	△21.4
合	計	18,092	14,771	+22.5

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

SHIMA SEIKI

受注・売上高（百万円）

受注残高（百万円）



四半期別業績推移〔連結〕

SHIMA SEIKI

(百万円)	2024/3				2025/3				2026/3	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q
売上高	11,695	7,474	7,112	9,628	8,061	6,710	7,091	10,656	10,519	7,573
営業利益	695	△327	391	△328	△493	△1,444	△7,854	△2,121	307	△387
経常利益	918	△353	633	△180	△343	△1,692	△7,484	△1,961	1,012	△232
親会社株主に帰属する当期純利益	740	△372	616	44	△380	△1,744	△9,153	△2,994	907	△235

(百万円)

受注高	5,507	5,413	6,333	8,263	8,224	4,712	6,982	9,850	6,207	5,498
受注残高	4,201	3,669	4,428	4,419	6,102	5,584	6,825	7,385	4,641	4,008

貸借対照表〔連結〕（第2四半期末）

SHIMA SEIKI

現金及び預金 第2四半期末18,796百万円（前期末14,129百万円）で、前期末より4,667百万円増加
 売上債権 第2四半期末36,008百万円（前期末35,341百万円）で、前期末より666百万円増加
 棚卸資産 第2四半期末23,223百万円（前期末24,982百万円）で、前期末より1,758百万円減少
 自己資本比率 75.8%（前期末78.2%）

（百万円）	2026年3月期 （第2四半期末）	2025年3月期 期末	増減
流動資産	77,798	74,205	3,593
固定資産	26,237	25,200	1,036
（有形固定資産）	14,120	14,186	△66
（無形固定資産）	102	78	24
（投資その他の資産）	12,014	10,936	1,078
資産合計	104,036	99,405	4,630
流動負債	21,108	17,632	3,475
固定負債	4,004	4,032	△28
負債合計	25,112	21,665	3,446
株主資本	65,545	65,983	△438
その他の包括利益累計額	13,335	11,718	1,617
新株予約権	14	13	1
非支配株主持分	28	25	3
純資産合計	78,923	77,740	1,183
負債及び純資産合計	104,036	99,405	4,630

（百万円未満切り捨て表示）

キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

SHIMA SEIKI

営業活動によるキャッシュ・フロー 棚卸資産の減少などにより、16億56百万円の資金の増加
 投資活動によるキャッシュ・フロー 定期預金の預け入れ、有形固定資産の取得による支出などにより、53億34百万円の資金の減少
 財務活動によるキャッシュ・フロー 借入金増加などにより、34億32百万円の資金の増加
 現金及び現金同等物の期末残高 前期末に比べ92百万円減少しました。

(百万円)

項 目	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,656	△1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,334	△747
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,432	3,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	△532
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△92	93
現金及び現金同等物の期首残高	10,363	12,809
現金及び現金同等物の期末残高	10,271	12,903

(百万円未満切り捨て表示)

Ⅱ. 2026年3月期業績計画

2026年3月期業績計画〔連結〕

SHIMA SEIKI

	(百万円)		(百万円)
	2026年3月期	前年比 (%)	2025年3月期
売上高	44,500	+36.8%	32,520
営業利益	1,500	—	△11,914
経常利益	2,300	—	△11,481
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	—	△14,275

通期計画の前提 為替レート 140円／米ドル 160円／ユーロ

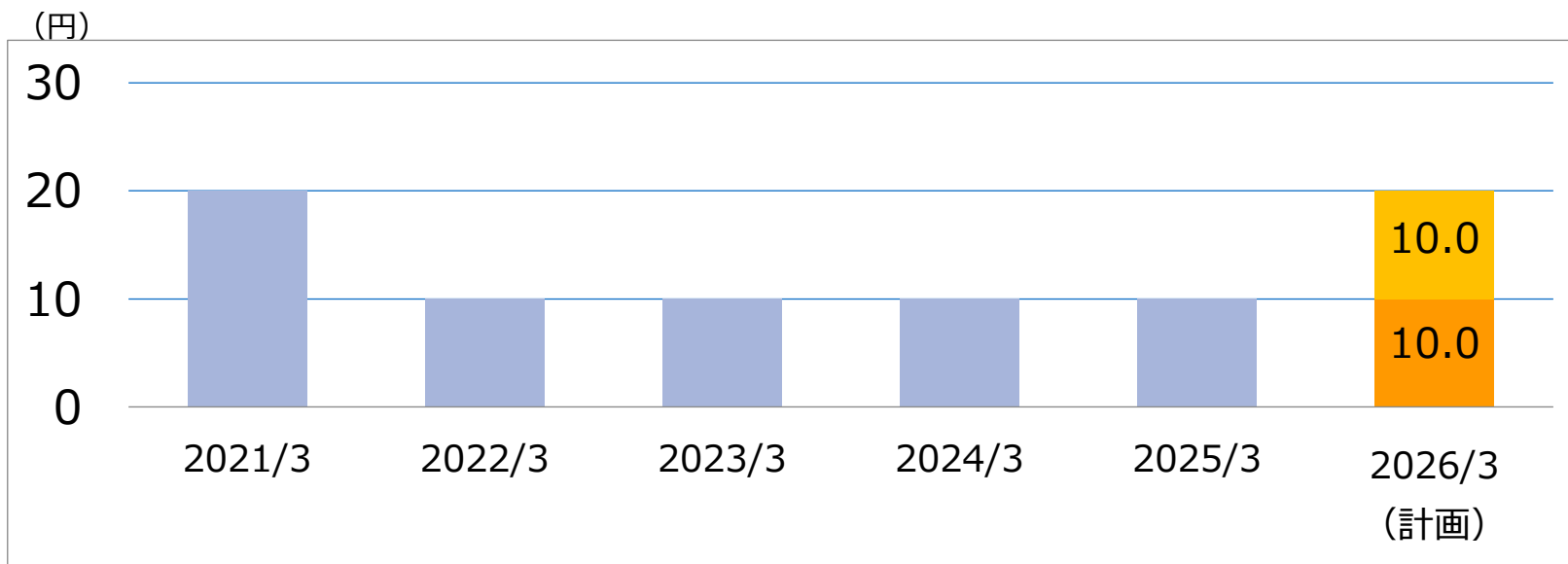
Ⅲ. 株主還元

1. 自己株式100万株を取得（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.90%）
※ 5/9公表・9/24取得終了
2. 自己株式100万株を消却（消却前の発行済株式総数に対する割合2.79%）
※ 5/9公表・10/31消却

3. 2026年3月期（計画） 中間配当金10円 期末配当金10円

【配当方針について】

中期経営計画「Ever Onward 2026」に基づき、収益力の向上につながる積極的な成長投資と財務体質の強化に努めながら、連結配当性向40%を目安に株主配当を行うことで、株主還元の充実を図る。



海外展示会

Pitti Immagine Filati 97

(2025年7月1日～3日 イタリア・フィレンツェ)

50カ国以上の国々から、世界的なアパレルブランドやニットメーカー関係者も来場する「第97回 Pitti Immagine Filati」に出展。

当社はイタリア初出展の横編機を含む3機種をはじめ、「yarnbank®」「SHIMADatamall™」などのデジタルソリューションや最新のニットコレクションを紹介。これらの新技術により複雑な編み地や繊細なデザイン表現を実現し、多くの注目を集めました。

また、フィレンツェにある世界的ファッション専門学校の学生作品も展示し、新鋭クリエイターによる横編みニットの魅力を発信。技術力と提案力をアピールするとともに、将来を担うニットデザイナーの育成と若年層への横編みニットの認知向上を目指しています。



国内展示会

第100回 東京インターナショナルギフトショー秋2025

(2025年9月3日～5日 日本・東京)

2025年9月に開催された東京インターナショナルギフトショーは、約2,000社が出展し、14万人が来場する国内最大級の展示会です。

当社は裁断機による本革・合皮の名刺ケース制作デモを実施し、多くの来場者に革新的な技術と具体的な活用イメージを強くアピール。

今回のギフトショーへの出展は、新規顧客開拓の目的において大きな成果を挙げ、今後の成長に向けた手ごたえを感じました。



SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。